

2024年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証スタンダード)
 問合せ先 財務経理部長 山崎 誠広
 (TEL：03-5464-0081)
 (URL <https://www.tsukada-global.holdings>)

2024年12月期 第2四半期及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に公表しました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年6月30日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	27,974	1,484	1,367	929	19円49銭
今回修正予想(B)	28,287	1,810	2,283	1,461	30円64銭
増減額(B)－(A)	313	325	915	531	
増減率(%)	1.1	21.9	67.0	57.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年12月期第2四半期実績)	26,842	1,418	2,165	2,036	42円70銭

2. 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	60,775	6,003	5,730	4,095	85円86銭
今回修正予想(B)	63,217	6,421	6,202	4,327	90円72銭
増減額(B)－(A)	2,442	417	471	231	
増減率(%)	4.0	7.0	8.2	5.7	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期実績)	57,474	5,341	5,742	4,730	99円16銭

3. 修正理由

第1四半期連結累計期間の売上高は、ホテル事業において訪日外国人数が2024年3月、単月では初となる3百万人(日本政府観光局「訪日外国人数(2024年3月推計値)」)を超えるとともに、2019年同月比11.6%増となった影響から、宿泊稼働率及び宿泊単価が予測を上回り微増となる見込みであります。当該状況は当面の間、継続する予測であるため第2四半期連結累計期間の売上高は微増となる見込みであります。営業利益につきましては、売上原価に占める変動費割合が低い宿泊売上高が増加する見込みであること及び婚礼事業における内製化の更なる推進など、全社を挙げたコストダウン施策の効果により増加する見込みであります。また、営業外収益において、円安基調にあることから為替差益の計上を見込んだことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も増加する見込みであります。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の変動を反映したことにより売上高、利益面ともに前回予想を上回る見込みであります。

(注) 上記業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上